

令和2年度  
学校関係者評価報告書

令和3年3月31日

学校法人 都城コア学園  
都城リハビリテーション学院

## 令和2年度 都城リハビリテーション学院 学校関係者評価報告書

都城リハビリテーション学院では、学校運営や教育活動等の現状を点検して、更なる改善・向上を図るため、自己評価に取り組み、「令和2年度都城リハビリテーション学院自己評価報告書」を取りまとめました。

そして、この自己評価報告書をもとに、関係団体の代表者・有識者や臨床実習指導者の方々から構成される学校関係者評価委員会を令和2年2月18日に実施して、学校運営や教育活動等について、貴重な御指導・御意見をいただきました。ここに、「学校関係者評価」の内容について報告いたします。

評価委員の皆様方には感謝申し上げますとともに、全職員一丸となって改善に取り組み、教育水準の更なる向上を目指して参ります。

今後とも、引き続き一層の御支援・御協力をお願い申し上げます。

令和3年3月31日

学校法人 都城コア学園  
都城リハビリテーション学院  
学院長 吉元 洋一

### 1 「学校関係者評価」の実施方法について

今回の学校関係者評価は、文部科学省が策定した「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえた評価項目に沿って実施した。学校教育や理学療法についての高い見識を有する3名の評価委員（委員一覧表）に評価していただいた。

評価委員からの指導・意見は、学院長・学科長が承り、その内容等を要約の上、報告書として取りまとめた。

自己評価報告書と併せて御覧ください。

### 2 学校関係者評価委員一覧表

評価委員	関係機関・団体・企業等	職名	備考
迫田 勇一郎	一般社団法人 宮崎県理学療法士会	理事	委員長
柚木 直也	一般社団法人 宮崎県理学療法士会	理事	
福永 誠司	一般社団法人 藤元メディカルシステム 藤元総合病院 リハビリテーション室	室長	

### 3 委員会次第

- (1) 開 会
- (2) 学校状況報告  
学生による授業評価や学生数などの学校状況を報告する。
- (3) 協議・意見交換  
迫田委員長の司会進行で、自己評価報告書の項目ごとに、概要説明・質疑応答の後、御指導・御意見をいただいた。
- (4) 閉 会

### 4 協議・意見交換（指導・意見）について

- (1) 「自己評価報告書」を踏まえた本学院の取り組みについて、各項目の課題及び今後の改善方策について説明を行い、以下のような御指導・御意見をいただいた。

[教育目的（教育理念）・教育目標・育成人材像]

- ・来年度は、卒業生を輩出する大事な年となります。臨床実習施設と密に連携を取りながら、質の高い卒業生を輩出して下さい。

[学校運営]

- ・コアグループは、他に理学療法学科を有する学校があるのか。あるのであれば、教育や学校運営について、どのような連携を行っているのか。
- ・オンライン会議システムを用いて、定期的に情報交換を行っている。内容は、学内実習や国家試験対策の取り組み、学生指導に難渋するケースの対応方法についてディスカッションを行っている。

[教育活動]

- ・今年度は、オンライン講義をどの程度行ったか。
- ・R2年5月の緊急事態宣言中の2週間程度とR3年1月上旬に1週間のオンライン講義を行っている。講義は、スライドを画面に映して行っているため、講義中の学生の様子を全て把握することは困難である。双方向性の講義という認識を学生に理解してもらうために、講義中に指名をして答えるような方法をとっている。
- ・臨床実習の受け入れ状況は、どうか。
- ・R2年8月に実施予定であった、1年生の見学実習・介助法実習については、新型コロナウイルス感染拡大により、実習先からの中止依頼が過半数を超えたため、全員学内実習へ切り替えた。2年生の検査測定実習、3年生の評価実習につきましては、全員臨床実習を終えることが出来た。

[教育成果]

- ・退学者の状況を教えてください。
- ・退学者3名については、入学後早期（4月－5月）に辞めたいと申し出があり、頻回な面談・3者面談等も実施しましたが、退学の意味が固く、2名は就職・1名は他分野の学校に入学予定となっている。その他1名は、前期試験・後期試験において、過半数の科目において単位認定されず、留年が決定となり、進路変更となった。
- ・退学者には、学業面・精神面・生活面等で問題を抱える学生だと思われる。面接試験のみで、学生の資質を見抜くことは困難かと思いますが、選考基準の見直しも検討して欲しい。
- ・今年度の結果を踏まえ、募集要項の検討を行っていく。

[学生支援]

- ・コロナの影響で、経済的に困窮している学生もいると思われませんが、実態把握はされているか。
- ・書面でのアンケート調査や口頭での確認を行っている。在校生の中に、コロナの影響で親の収入が減少した学生はおりませんでした。アルバイト収入が減ったという学生がいるため、引き続き、調査は行っていきたいと思っている。

[教育環境] については、特に指導・意見はなかった。

[学生募集と受け入れ]

- ・学生数が定員に満たない要因は、何ですか。
- ・学校の認知度が低い事、卒業生が出ておらず国家試験の合格・就職実績が無い事が大きな要因だと考えている。

[財務] については、特に指導・意見はなかった。

[法令等の遵守] については、特に指導・意見はなかった。

[社会貢献・地域貢献]

- ・研究実績を有する専任教員が多数在籍しているため、地域の病院との共同研究や研修会等も積極的に行って欲しい。
- ・令和3年度は実施できるように準備・調整を行う。

## 5 閉 会

終わりに、学院長が貴重な御指導・御意見に対するお礼の挨拶を行い、頂いたご意見を真摯に受け止め、学校発展のために努力していくと挨拶を行った。